



地域資源や地域特性を活かした特色のあるまちづくりを推進するため「地域の力（考え）で地域を育てる」地域まちづくりをすすめています。市内各地域のまちづくり活動団体によって取り組まれている地域まちづくりの活動を地まぢのチカラで情報発信します。

2024.12.1

vol.108

まちづくり活動のための

チラシデザイン講座

「チラシを作ってるけど、効果を感じない…」
「なかなか参加者や仲間が集まらない。」

本講座ではそんなお悩みを解決するため、NPOや地域団体の広報物のデザインを数多く手掛ける講師から、**オンラインデザインツール「Canva（キャンバ）」**（基本無料で利用可能）を利用した、イベントチラシの作り方を学び、実際にチラシを作成します。Canvaの使い方だけではなく「伝わるチラシとは何か」という広報の考え方からデザインまでを、2日間かけて学びます。

《まちづくりスキルアップ講座》地まちNEWS

講座のポイント

01 Canvaでつくる

「Canva」基本無料かつ複数人で同時編集が可能。メンバーの意見を取り入れやすいです。

02 伝わるデザインを学ぶ

チラシに大切なのは見た目だけではなく。「伝わる」ために大切なポイントを学びます。

03 実際に使うチラシをつくる

本当に使ってこそ、工夫や改善点が見えてくる。実在する企画をご準備ください。

【開催日】2025 1/26(日)・2/16(日)

お申込み・詳細は、右記二次元コードからお願いします。
申込締切：2025年1月15日(水)16:00



いしきマルシェ実行委員会

地域の取組み

《第4回いしきマルシェ秋まつり》

いしきマルシェ実行委員会は、多世代が交流・活躍できる場所を提供することで地域の絆を深め、下之一色を挨拶や交流とともに支え合えるまちにしたいという想いで活動している団体です。

この日正色広場で開催された秋まつりには、様々な世代の方々が次々と来場。10時を過ぎた頃にはあっという間に人で埋め尽くされるほどの大盛況ぶり。祭りの呼び物「尾張新次郎太鼓」（江戸時代から伝わる神楽太鼓）が始まると会場がひとつになりました。絶えることなく人の交流が続いたいしきマルシェ、今後の活動もどのように地域で広がっていくか楽しみです。



「尾張新次郎太鼓」の演奏



地元の方を中心に多くの方が集まりました

地まちチャレンジまちづくりを行う“人”にフィチャーしたインタビュー

53人目 奥村 由美さんご紹介

荒子の里協議会 代表

奥村 和子さん



Q まちづくりに取り組んできた中でうれしかったこと

A 同じ地域に住んでいながら、これまで話すこともなかった人とも親しくなれたこと。

Q これから取り組みたいと考えていること

A 街並みの風景が変わっていくことは、いろんな理由で仕方がないことだが、現在の姿も過去の積み重ねた歴史があつてのことだと伝えていけたらと思う。

Q 最後にひとこと A 住むところ、それは単に場所という狭い地域のことでなく、広い視野を持ってみると、互いに支えあえる社会が出来るような気がする。理想です。

中川区の荒子高畑界隈で活動している地域まちづくり活動団体「荒子の里協議会」の会長を務める奥村さん。月1回の「荒子円空市」の開催、荒子フォーラムの開催など荒子を盛り上げる様々な活動を行っています。会では荒子エリアのマップも作成。この辺りは前田利家のふるさとして知られておりファンの方を見かけたら自分から積極的にマップを渡していってほしい。若い方にも会に参加してほしいけれど「昔はこうだった」という言い方は絶対にしないと決めている、と話す奥村さん。これからしていきたいこととして、歴史のあるこのエリアを大切にしたいという想いから、エリア内の古い建物に説明書きの看板を設置する、もう一度まちを歩き昔の地図と照らし整理する、「大門西」など過去の街並みが想像できる地名を遺していく、など様々な目標を挙げてもらっていました。そしてそれによって、訪れる方には「こんなまちだったんだ」と、地域の方には「自分は今この場所にポツンと一人であるのではない、過去の様々な歴史があつて今ここにいるんだ」と感じてほしい、という想いも。今この瞬間だけではなく過去と未来の姿まで思いながら活動されている奥村さん。幅広い活動を長年続けているパワーの源泉を垣間見た気がしました。



北から南まで人でぎっしりの内田橋商店街



アンケートを
回って周回

